

## 2-01 工具と計測器具

ニパ<sup>®</sup>-カルフォント(Migu1c)×16pt 版、2018-9-2 改訂

自分の工具を持ち、基本的な整備・調整を、自分でできるようにしましょう。基本的な工具を説明します。視覚障害で、一部の工具や計測器は使いにくい、使えないかもしれません。しかし基本的な知識は持っておかなくてはなりません。

### 1 レンチ

レンチはスパナともいいます。ボルトやナットを回す道具で、多くのタイプがあります。基本の1本は、「コンビネーション・レンチ」が最適です。端が「メガネ」とオープンエンドになっています。メガネとは、輪になっているということです。サイズは、六角ボルトの2面幅で呼び、よく使うのは10、13、17、19ミリです。各サイズ2本ずつ用意します。

### 2 プライヤー（スリップジョイント・プライヤー）

プライヤーは、物を強くはさむ工具で、色々なところに使います。はさむもののサイズにより、軸のところがスリップする機構になっています。なお、手で回す「蝶ナット」などをプライヤーで強く締めるとはいけません。

### 3 六角レンチ とトルクスレンチ

六角穴のついたボルトを回す六角棒状の工具でL字型をしたものがあります。ただし最近では、従来、六角穴のネジだったものが、六角星型の「トルクス」ネジに急速に世代交代しています。穴の形状をよく確かめ、その形に合ったレンチを使わなければなりません。

## 4 ドライバー類

ねじ回し、ドライバーにも様々なタイプとサイズがあります。プラスネジの基本のサイズでも、No. 1, 2, 3と3種類あり、ボートも各部で規格が違います。必ずサイズに合ったドライバーを使わなければなりません。比較的短めの、グリップの太いものが良いです。

## 5 計測機器： メジャー, 水準器, 角度計

計測器具は、ロウイング専用もありますが、多くはホームセンターで普通に売っているものが使えます。しかしそれらは、ある程度の視力が必要なものばかりです。視覚障害では、計測機器、艀装、リギングの工夫・開発も必要です。まだこれからの分野です。

とりあえず一般事項を説明します。

**メジャー**（巻尺）：スリップオール的全長が測れるように、4メートル以上のメジャーを使用します。スパンの計測がしやすいように、ストッパー付きで、中折れしにくい幅が広いものが適しています。

**水平器**（レベル）：角棒に気泡管がついて、水平を見るものです。クラブでは長いものも必要ですが、個人用の基本の1本は、レールに渡して点検できるように、比較的短い20cm程度が良いでしょう。

**角度計**：気泡や針によって傾斜を測るものです。ロウイング専門のものもあります。

**ハイトゲージ**：シートからオールロックの高さを測るものでL字型をしたものが一般的です。特に視覚のハンディがある場合、平行に動くパンタグラフ式と自分の設定ハイトの「基準ゲージ」を使う方法が考えられます。